

「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について」アンケート

みなさまのご意見を参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いします。

【調査期間】 令和2年10月10日（土）～令和2年10月26日（月）

■調査目的

新型コロナウイルスの感染拡大により、4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大され、4月18日より栃木県が緊急事態措置となりました。不要不急の外出自粛要請と併せて、学校の休校や在宅勤務、店舗や施設の休業等、生活に大きな影響を及ぼすことになり、生活不安やストレスの増加、またそれらに起因するDVの増加が懸念されるなどが問題になりました。5月6日栃木県の緊急事態措置は解除されたものの、新しい生活様式の実践や働き方が見直され私たちの生活は大きく変化しました。

その中で浮き彫りとなってきた課題の一つが、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響です。女性は非正規で働いている場合が多く、職を失いやすいうえ、学校の閉鎖や保育園の受け入れ縮小により、子育てや家の中の仕事を一気に担うことが多くなりました。また、今までとは異なるワークライフバランスの在り方や心理的ストレスとどう向き合っていくかも問題となっています。

栃木県女性の生活や心身にどのような影響を及ぼした（している）のか現状を把握し、今後の生活や働き方を展開するにあたって、必要な取組みは何なのかを導き出すことを目的とし、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響についてアンケートを実施します。

■調査方法

Web調査（10問5分程度）（株式会社マクロミル Questant）

なお、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

■対象

栃木県内在住の女性

■アンケート実施者・協力機関

実施者：宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部 特任助教 川面充子

協力機関：栃木県、公益財団法人とちぎ男女共同参画財団、栃木労働局雇用環境・均等室

■下記のURL、または右のQRコードを読み取り、アンケートにご回答ください。

<https://questant.jp/q/8SD4W056>



■11月20日フェスタ in パルティにてアンケート調査中間報告

2021年3月 アンケート調査結果・分析報告、情報誌パルティ掲載

■アンケートに関するお問い合わせ先

宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部 特任助教 川面充子

電話：028-649-5151／メール：mkawazura@cc.utsunomiya-u.ac.jp

Q1 年代

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代～

Q2 家族形態

- ①1人暮らし
②本人と親
③配偶者・パートナーと2人
④配偶者・パートナーと子ども（末子が小学生以下）
⑤配偶者・パートナーと子ども（末子が中学生以上）
⑥母親（本人）と子ども（末子が小学生以下）
⑦母親（本人）と子ども（末子が中学生以上）
⑧三世帯世帯（親と子と孫）
⑨その他（ ）

Q3 職業（新型コロナウイルスの影響で仕事を辞めた方は、辞める前の職業）

- ①勤め人（正規社員・職員）
②勤め人（臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員）
③自営業主または家族従業員
④家事専業
⑤学生
⑥無職（家事専業を除く）
⑦その他（ ）

Q4 Q3で「①、②、③」のいずれかに回答された方のみお答えください。コロナ禍前と現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響により働き方に変化はありましたか。【複数回答可】

- ①就業日数が増えた
②就業日数が減った
③1日の就業時間が増えた
④1日の就業時間が減った
⑤在宅勤務（テレワーク）が増えた（出勤との併用含む）
⑥緊急事態措置期間（4月18～5月6日）は在宅勤務（テレワーク）だったが現在は通常勤務に戻った
⑦時差出勤になった（増えた）
⑧仕事を休んでいる（自己都合）
⑨仕事を休んでいる（会社都合）
⑩仕事を辞めた（自己都合）
⑪仕事を辞めた（解雇、雇い止め、倒産等）
⑫特に変化はない

⑬その他（下記に詳細をご記入ください）

Q5 Q4で「①、②、③」のいずれかに回答された方のみお答えください。 コロナ禍前と現在とを比較し、収入に影響はありましたか。

①収入が増えた

②収入が減った

③収入がなくなった

④変わらない

⑤その他（下記に詳細をご記入ください）

Q6 緊急事態措置期間（4月18日～5月6日）、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化がありましたか。【複数回答可】

①家事・育児の負担が増えた

②家事・育児の負担が減った

③仕事や勉強に集中できなくなった（不安があった）

④仕事や勉強に集中できた

⑤子どもを叱ることが増えた

⑥子どもを叱ることが減った

⑦配偶者・パートナーとの関係が悪くなった

⑧配偶者・パートナーとの関係が良くなった

⑨人との交流機会が減った

⑩外出できないことに対するストレスを抱えている

⑪生活に対する不安を抱えていた

⑫感染への不安を抱えていた

⑬特に変化はなかった

⑭その他（下記に詳細をご記入ください）

Q7 現在、新型コロナウイルスの影響で、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化はありますか。【複数回答可】

- ①家事・育児の負担が増えている
- ②家事・育児の負担が減っている
- ③仕事や勉強に集中できなくなっている（不安がある）
- ④仕事や勉強に集中できている
- ⑤子どもを叱ることが増えている
- ⑥子どもを叱ることが減っている
- ⑦配偶者・パートナーとの関係が悪くなっている
- ⑧配偶者・パートナーとの関係が良くなっている
- ⑨人との交流機会が減っている
- ⑩外出できないことに対するストレスを抱えている
- ⑪生活に対する不安を抱えている
- ⑫感染への不安を抱えている
- ⑬特に変化はない
- ⑭その他（下記に詳細をご記入ください）

Q8 今、困っていることは何ですか。【複数回答可】

- ①自分の仕事や生き方
- ②配偶者・パートナーとの関係
- ③家族（配偶者・パートナーを除く）との関係
- ④家族以外との人間関係
- ⑤暴力被害・性暴力被害
- ⑥自分自身や世帯（家族）の経済面
- ⑦自分自身や家族の健康面
- ⑧特にない
- ⑨その他（下記に詳細をご記入ください）

Q9 コロナ禍の中、女性に対する支援としてどのような施策が必要と思われますか。【複数回答可】

①仕事や生活、家庭等に不安がある際の適切な相談先に関する情報提供

②電話による相談

③面接による相談

④メールや SNS 等を活用した相談

⑤オンライン面接（ビデオ通話）による相談

⑥同じ悩みを持つ人同士が対面で交流できる場の提供

⑦同じ悩みを持つ人同士がオンライン上で交流できる場の提供

⑧オンライン配信によるセミナー

⑨テレワークできる場の提供

⑩特になし

⑪その他（下記に詳細をご記入ください）

Q10 その他、ご意見等がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。